

Pontaリサーチ会員3,000人に聞いた  
**第49回 Ponta消費意識調査 2021年10月発表**

## 冬のボーナスの使い道、8年連続「貯金・預金」が1位 「投資信託」、今年の夏のボーナスに続き、冬のボーナスの使い道でも初のTOP10入り

共通ポイントサービス「Ponta（ポインタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」）は、消費者の意識とポイントの利用意向を把握するため、「第49回 Ponta消費意識調査」を「Pontaリサーチ」にて2021年9月29日（水）～9月30日（木）に実施いたしましたので、ご報告いたします。

### ■アドホック：冬のボーナスの使い道

トピックス

- 「冬のボーナス」の使い道（P.2）
  - 今年の冬のボーナスの使い道、8年目の調査で「投資信託」が9位となり、初のTOP10入り。1位「貯金・預金」、2位「旅行（宿泊を伴うもの）」、3位「食品（ふだん食べるもの）」
- 「冬のボーナス」の支給額と貯金・預金の割合（P.3）
  - 「20万円～40万円未満」が23.0%で最多。「40～60万円未満」が20.3%で続く
  - 冬のボーナスの支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は、約6割
- 「冬のボーナス」の貯金・預金の用途（P.4）
  - 「貯金・預金」の用途を「決めている」は全体で約4割。節約したい派の方が用途を決めている割合が高い
  - 「貯金・預金」の用途、「老後の生活への備え」が最多

#### <節約志向>

- 消費者の節約志向（P.5）
  - 「節約したい」派は61.1%となり、前回調査より0.3ポイント減少

#### <ポイントサービスの利用意向>

- ポイントの活用意識と節約志向（P.6）
  - 「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が44.8%と最も高く「節約したい」派では、「いまつかいたい」が48.1%と最も高い
  - 「節約したい」派に高いポイント活用意識が伺える

#### <調査概要>

調査方法：インターネット調査

調査期間：2021年9月29日（水）～9月30日（木）

パネル：「Pontaリサーチ」会員（Ponta会員で「Pontaリサーチ」への会員登録をして頂いている方）

回答者数：3,000人 男性、女性×年代別（20・30・40・50・60代以上）の各10セルで300サンプル

※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。

※「冬のボーナスの使い道」は2014年から選択肢に「貯金・預金」を追加した形で調査を継続しています。

LMは、「Ponta」の「便利・おトク・楽しい」世界が、いつでもどこでも広がる生活密着型サービスを提供しています。

<消費者意識>

アドホック

「冬のボーナス」の使い道

… 今年の冬のボーナスの使い道、8年目の調査で「投資信託」が9位となり、初のTOP10入り。  
**1位「貯金・預金」、2位「旅行（宿泊を伴うもの）」、3位「食品（ふだん食べるもの）」**

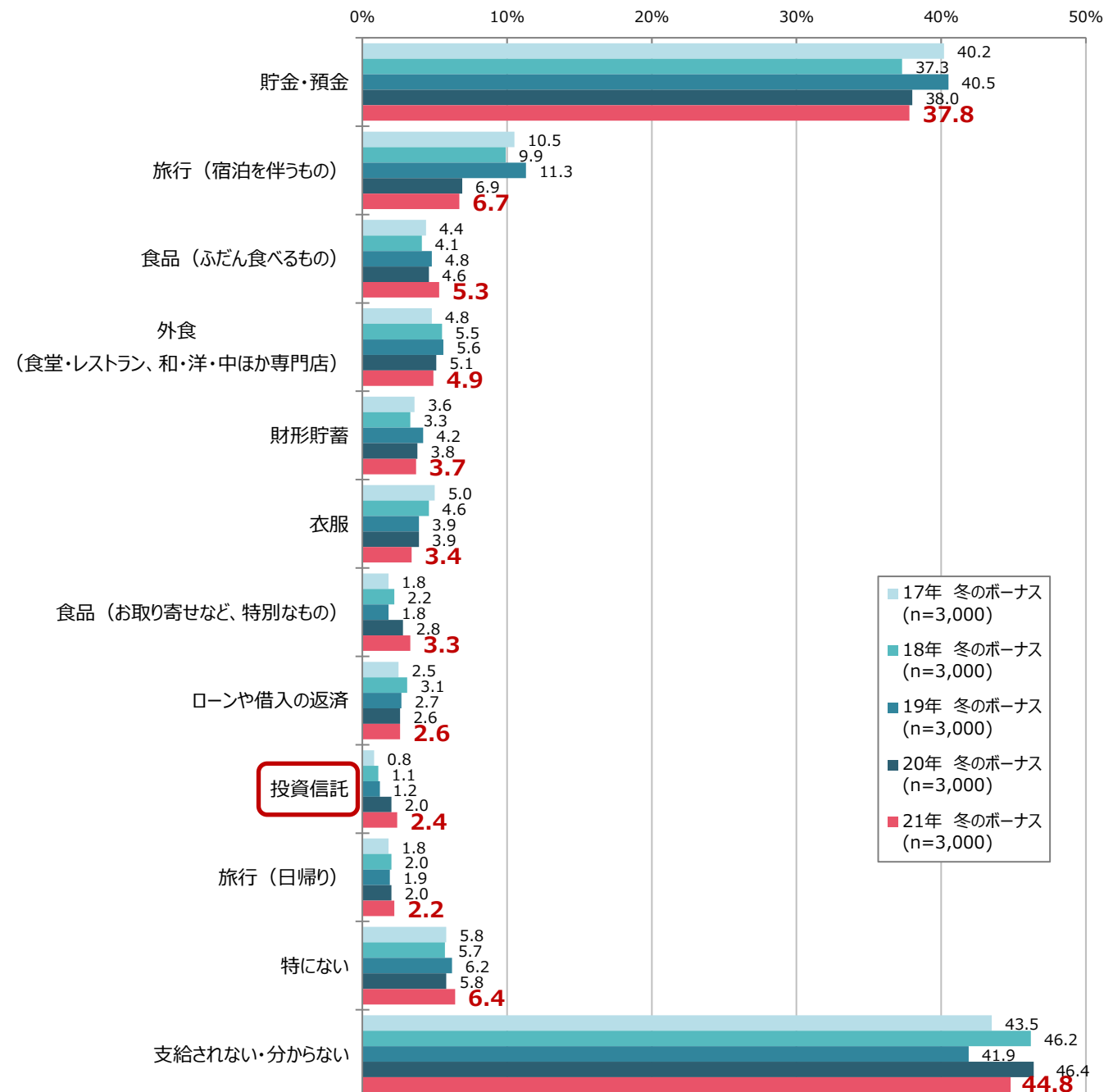
- ・ 今年の冬のボーナスの使い道について「投資信託」は9位となり、2014年以降の調査で初めての上位10位入りとなった。2021年6月発表の「夏のボーナスの使い道」でも「投資信託」はそれまでの調査で初めて上位10位となっており、関心の高まりがうかがえる。
- ・ 1位「貯金・預金」、2位「旅行（宿泊を伴うもの）」、3位「食品（ふだん食べるもの）」となった。「食品（ふだん食べるもの）」は、過去最高の5.3%だった。

■ 今年の冬のボーナスの使い道を教えてください。（3つまでの複数回答）

※今回調査で上位10項目を抜粋（「特にない」「支給されない・分からない」を除く）

※回答が同数で順位に差がある場合は、小数点第2位以下に差があるため

※2014～2016年の冬のボーナスに関する調査結果は、こちらからご確認ください（<https://www.loyalty.co.jp/news/2019103001>）



## <消費者意識>

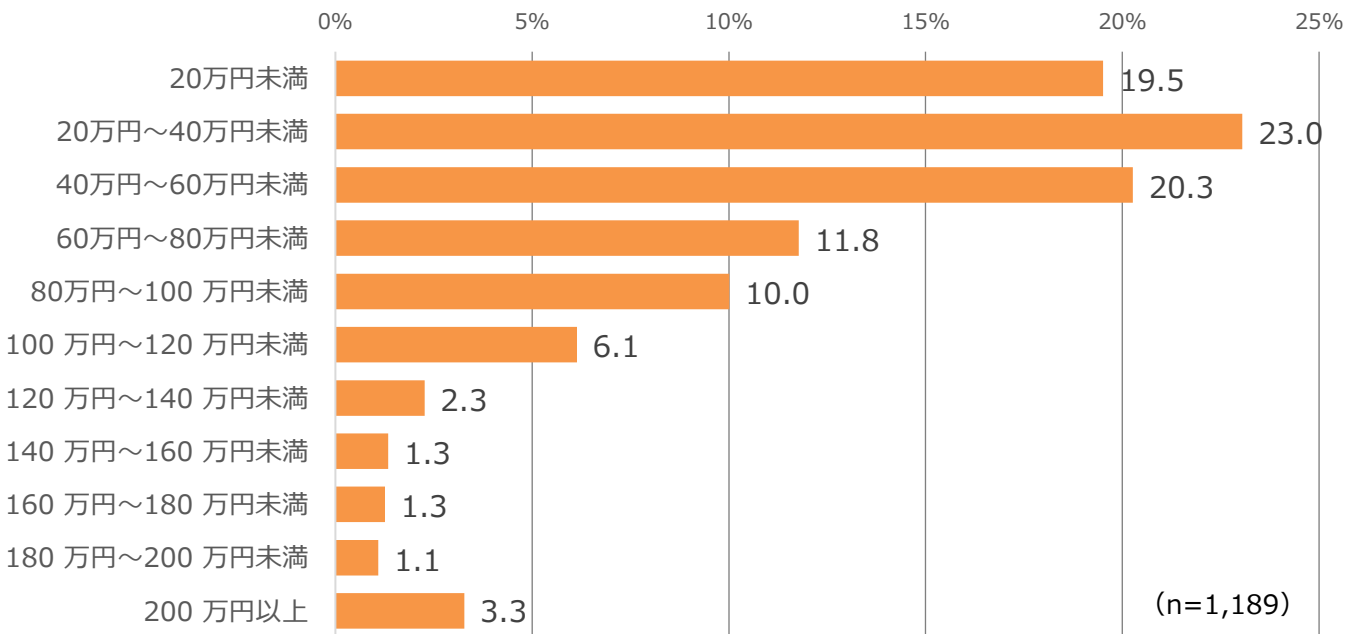
### 「冬のボーナス」の支給額と貯金・預金の割合

アドホック

…「20万円～40万円未満」が23.0%で最多。「40～60万円未満」が20.3%で続く  
冬のボーナスの支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は、約6割

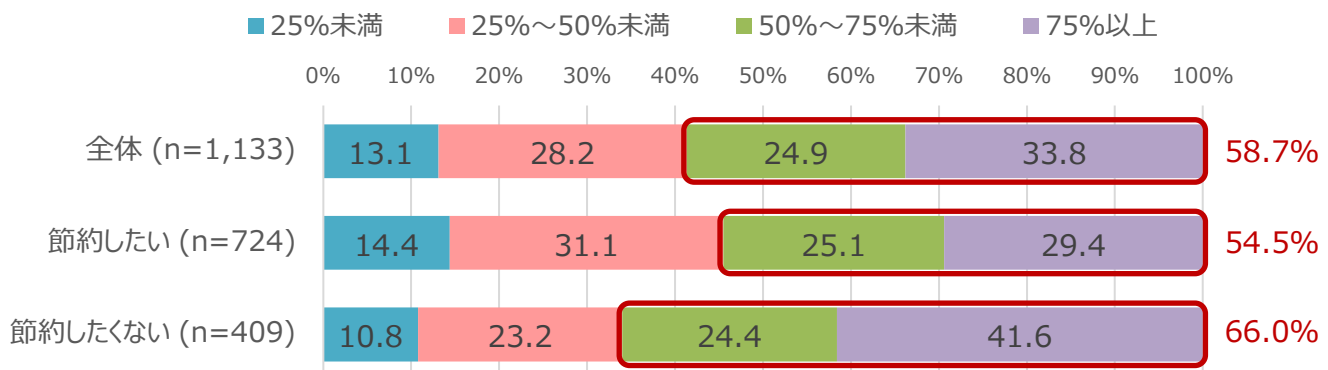
- 冬のボーナスを「貯金・預金」したい人に、支給金額のうち貯金・預金したい額の割合を聞くと、「50%～75%未満」は24.9%、「75%以上」は33.8%となった。あわせると、支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は58.7%。
- 節約志向別でみると、支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は、節約したい派で54.5%、節約したくない派で66.0%となった。

■あなたもしくは家族にボーナスが支給される場合、今年の冬のボーナスの金額(世帯あたり)を教えてください。これから支給される場合は、想定される金額を教えてください。(単一回答)  
今年の冬のボーナスの使い道に「支給されない・分からない」を選んだ方以外が回答。  
※本設問で金額を回答した方を抜粋。(「分からない・答えたくない」と回答した n=467 を除く)



■支給される金額のうち、どの程度貯金・預金したいか、お答えください。(単一回答)

今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のみ回答。



## <消費者意識>

### 「冬のボーナス」の貯金・預金の用途

アドホック

…「貯金・預金」の用途を「決めている」は全体で約4割。  
節約したい派の方が用途を決めている割合が高い

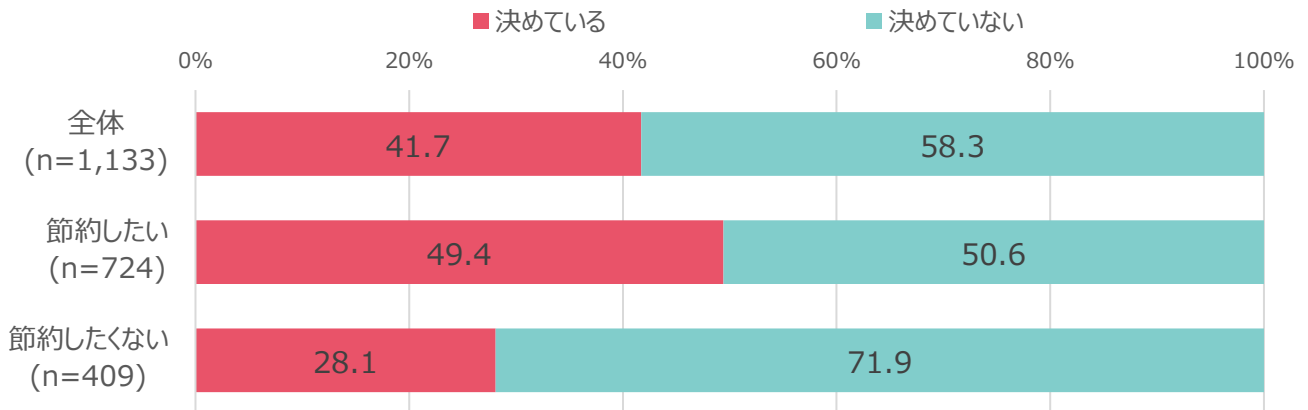
- 冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」と答えた37.8%のうち、用途を「決めている」のは、全体で41.7%。
- 節約志向別でみると、節約したい派は49.4%となり、節約したくない派（28.1%）よりも21.3ポイント高い。

…「貯金・預金」の用途、「老後の生活への備え」が最多

- 全体で「老後の生活への備え」が56.2%、次いで「将来の消費への備え」が47.6%となった。
- 節約志向別でみると、用途の順位に違いはないものの、節約したい派では「収入の変化への備え」が節約したくない派よりも高く、15.5ポイント差となった。

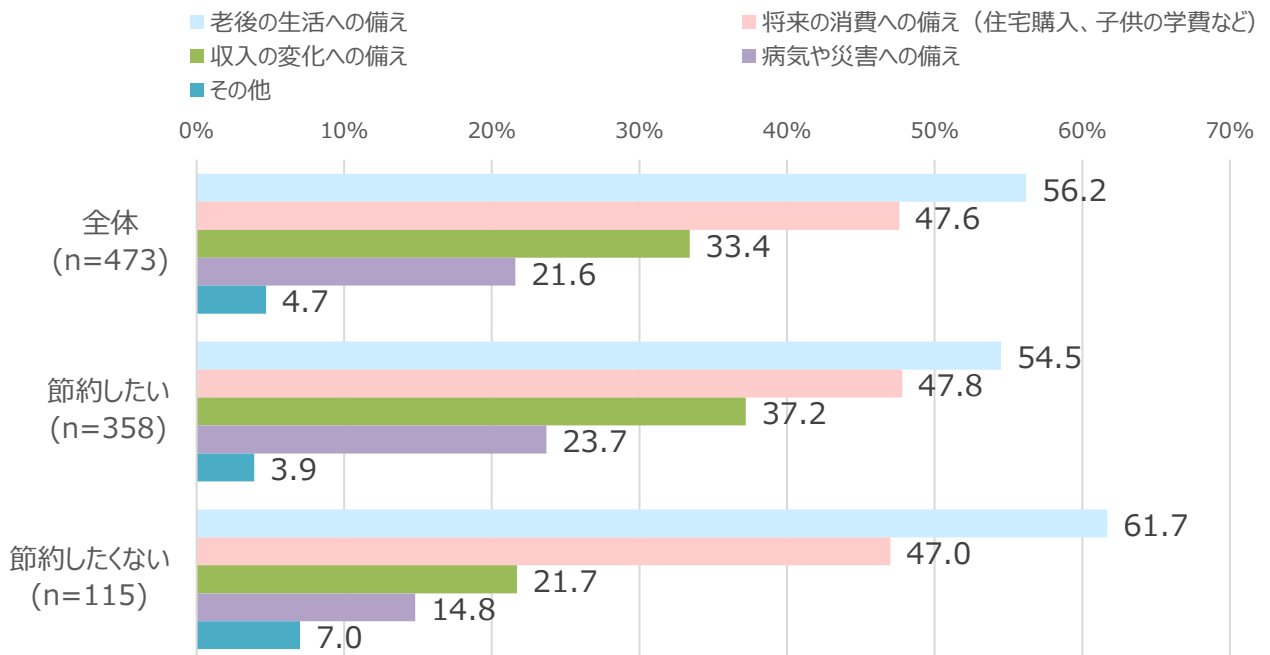
### ■「貯金・預金」の用途は決めていますか。（単一回答）

今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のみ回答。



### ■「貯金・預金」の用途を教えてください。（いくつでも）

今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のうち、用途を決めている方のみ回答。



## <節約志向>

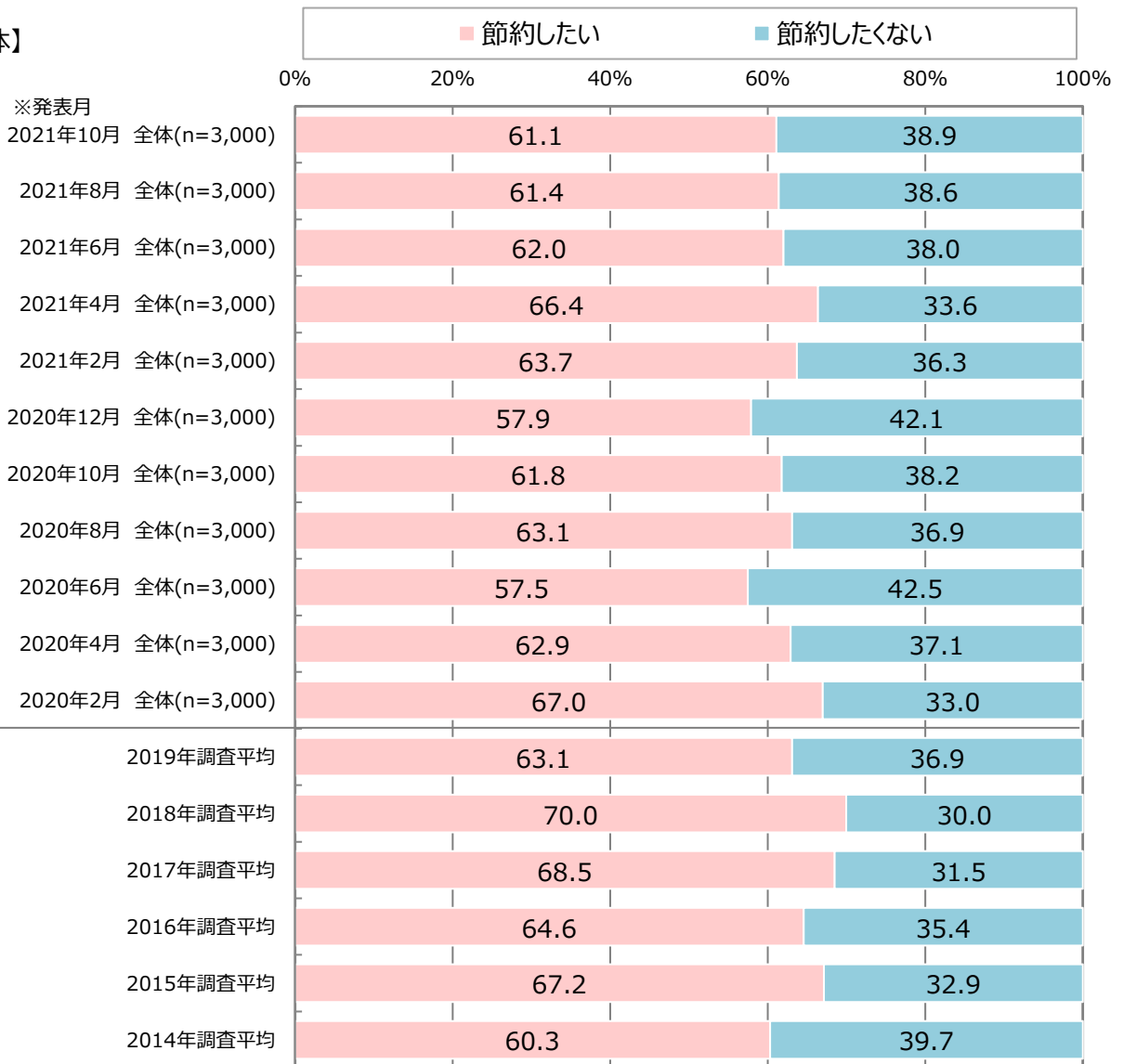
### 消費者の節約志向

…「節約したい」派は61.1%となり、前回調査より0.3ポイント減少

・今月の家計の支出を節約したい金額に1円以上を回答した「節約したい」派は、61.1%となった。

### ■今月の家計の支出を節約したい割合

【全体】



・節約したい…節約したい金額が1円以上  
 ・節約したくない…節約したい金額が0円

【参考】 <設問> あなたは、今月の家計の支出をどのくらい節約したいですか。（半角数字で入力）  
 ※とくに節約したいと思わない人は「0」と入力してください。

※2014年調査平均は4～12月の偶数月5回分、その他の年ごとの調査平均は2月～12月の偶数月6回分の平均です。  
 各調査n=3,000、2014年4月調査のみn=3,013です。

## <ポイントサービスの利用意向>

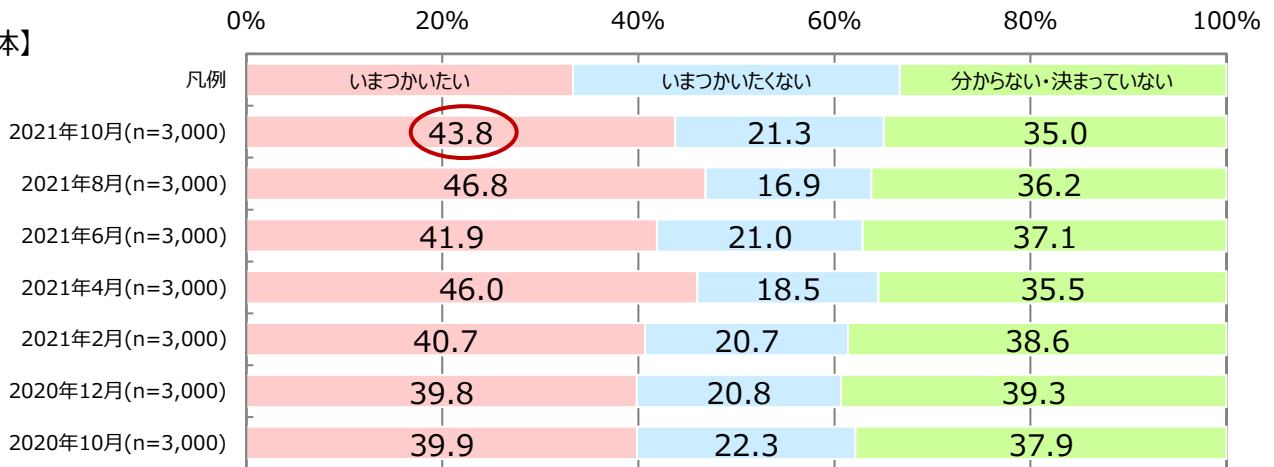
### ポイントの活用意識と節約志向

…「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が44.8%と最も高く  
 「節約したい」派では、「いまつかいたい」が48.1%と最も高い  
 「節約したい」派に高いポイント活用意識が伺える

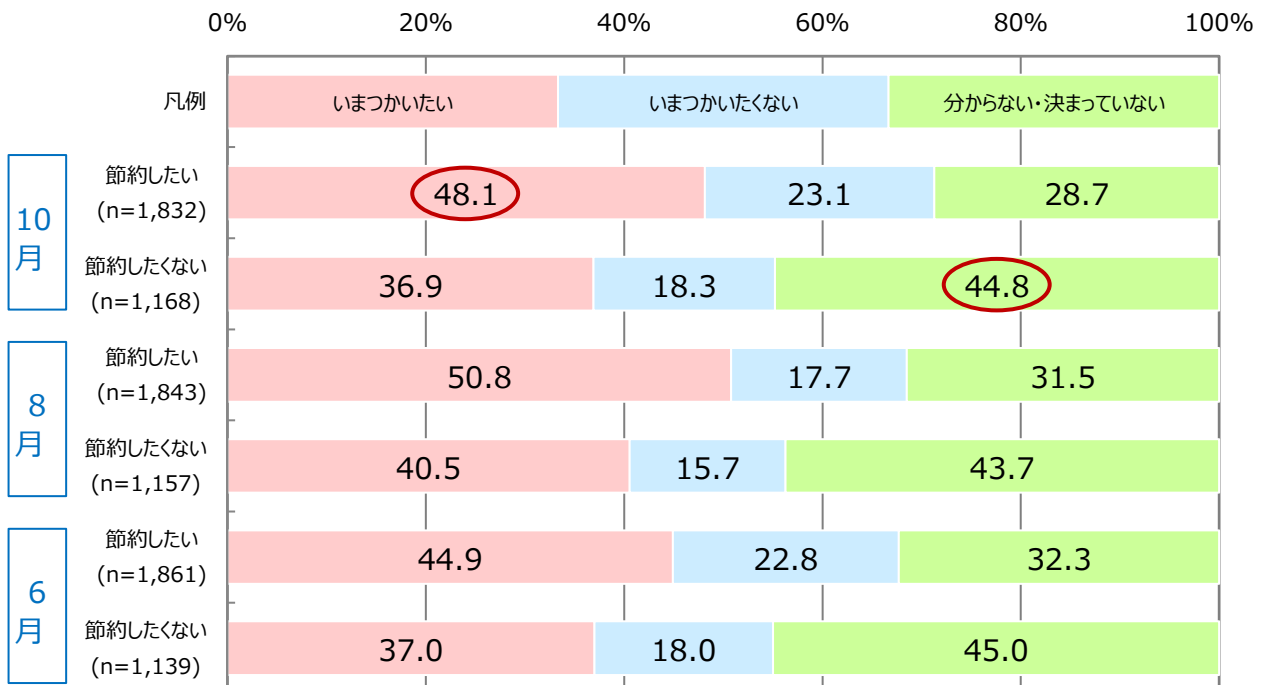
・いまPontaポイントをつかいたいかについて、全体で「いまつかいたい」が最も高く、43.8%となった。

### ■あなたはいまPontaポイントをつかいたいですか。（単一回答）

#### 【全体】



#### 【節約志向の有無別】（2021年6月～2021年10月調査）



## 【参考】「Pontaリサーチ」コンサルティング・リサーチチーム 見解

### — 今年の冬のボーナスの使い道、「投資信託」が9位となり、8年目の調査で初のTOP10入り 「貯金・預金」は8年連続で1位

Ponta消費意識調査では、2014年より毎年、冬のボーナスの使い道について調査しています（※）。8回目となる今回の調査結果は、新型コロナウイルス感染拡大による消費動向の変化がうかがえるものとなりました。

今年の冬のボーナスの使い道について「投資信託」は9位となり、2014年の調査以降、初めて上位10位入りとなりました。2021年6月発表の「今年の夏のボーナスの使い道」でも、8年目の調査で初の上位10位となっており、投資に対する消費者の関心の高まりがうかがえます。1位は8年連続で「貯金・預金」となりました。次いで、2位は「旅行（宿泊を伴うもの）」、3位は「食品（ふだん食べるもの）」でした。

また、上位10位のうち、過去の調査と比較して割合が最も低いものと高いものをみると「旅行（宿泊を伴うもの）」（6.7%）は過去最も低く、「食品（ふだん食べるもの）」（5.3%）、「食品（お取り寄せなど、特別なもの）」（3.3%）、「投資信託」（2.4%）、「旅行（日帰り）」（2.2%）は過去最も高い割合でした。食品関連がそれぞれ過去最高の割合となったのは、コロナ禍により外出を控え、自宅での食事機会が増えていることが要因ではないかと考えられます。また、旅行関連では、「宿泊を伴うもの」は過去最低となった一方で、「日帰り」は過去最高となりました。遠出して宿泊するのではなく、近場での旅行を楽しみたいという気持ちが働いているのではないかと考えられます。

### — 「貯金・預金」において、節約したい派が用途を決めている割合が高い

冬のボーナスの使い道の1位となった「貯金・預金」について、支給される金額のうち、どの程度貯金・預金したいかを調べました。支給金額の半分以上と答えた方は、全体で58.7%でした。節約志向別でみると、節約したい派では54.5%、節約したくない派では66.0%となりました。

また「貯金・預金」の用途を決めているかについては、「決めている」が全体で41.7%でした。節約志向別では、節約したい派で49.4%、節約したくない派で28.1%となりました。節約したい派は、節約したくない派よりも21.3ポイント高くなっています。

続いて、貯金・預金の用途を決めている方に、その用途をうかがったところ、全体で1位「老後の生活への備え」、2位「将来の消費への備え」、3位「収入の変化への備え」となりました。節約志向別でも、用途の順位は同じでしたが、節約したい派では、「収入の変化への備え」が、節約したくない派よりも高く、15.5ポイント差となりました。

冬のボーナスの使い道で「貯金・預金」は毎回、人気の使い道ですが、節約志向別でみると、節約したい派の方が用途を決めて、貯金・預金をしている様子が見られました。また、その用途としては「収入の変化への備え」が、節約したくない派と比べて高いことがわかりました。

#### <「Pontaリサーチ」について>

PontaリサーチはLMが提供するリサーチサービスで、Ponta会員のうち「Pontaリサーチ」にご登録いただいているPontaリサーチ会員を対象に、自主調査や企業および団体などから依頼を受けたアンケートをご案内しています。Pontaリサーチ会員の皆様は、アンケートにご協力いただくことでPontaポイントをためることができます。「Pontaリサーチ」サイトURL：<https://www.loyalty.co.jp/ponta-research/>

#### <引用・転載の際のクレジット表記のお願い>

調査結果引用・転載の際は、「Pontaリサーチ」調べとクレジットを記載していただけますようお願い申し上げます。

